

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う 博物館における感染予防の基本的方針

令和5年5月8日

公益財団法人日本博物館協会

博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインが5月8日の5類感染症への移行を以って法的根拠を失い廃止されたことから、日本博物館協会として5月8日以降の感染予防対策について注意すべきポイントを以下のとおり基本的方針として取りまとめました。

博物館は、コロナ禍の下でもそれぞれの博物館の不断のご努力により感染予防対策に取組みつつ、オンラインの活用等により博物館の社会的役割を果たしてきました。

今回の5類感染症への移行によって、博物館の運営現場における感染予防対策の実施は、各施設の判断に委ねられることとなります。

博物館の設置者及び運営に携わる関係者の皆さまにおかれましては、それぞれの施設の特性とともに、所在する地域の感染状況や各自治体の方針等を踏まえ、本基本的方針のポイントを参考に適切にご対応いただき、安心・安全な博物館の持続的運営環境の維持にご協力いただきたく、よろしくお願いいたします。

I 利用者の感染防止

- 1 施設内で三つの密（「密閉」「密集」「密接」）が生じるリスクを評価し、状況に応じて対策を講じることができる体制を整える。
- 2 施設内でのマスク着脱は利用者ご自身の判断に委ねることを原則とする。
- 3 近距離での発話や会話を必要とする催し等、マスク着用が効果的な場面では、必要に応じてマスクの着用を推奨する。
- 4 発熱等の体調不良の際にはご来館（園）を控えていただくよう利用者に周知する。
- 5 施設内では咳エチケットの推奨を求めるほか、適切な手指消毒の励行を推奨する。
- 6 ハンズオンはじめ接触型展示等については、感染状況等を踏まえ、適当な消毒の実施等、利用状況等にに応じた対応を講じることを推奨する。

II 職員や施設に出入りする関係者等の感染防止

- 1 マスクの着脱については、個人の判断に委ねることを原則としつつ、各施設の環境や特性に応じて、マスク着用が効果的な場面では独自の判断で要請・推奨する。
- 2 体調管理並びに手指消毒などを推奨し、その時々々の社会状況や感染状況を踏まえ、適切な感染対策を施すことを推奨する。
- 3 三つの密を避けるとともに、咳エチケットの推奨を求めるほか、適切な手指消毒の励行を推奨する。
- 4 発熱等の体調不良者は出勤を控え、症状に応じて適切に対応する体制を整える。

5 オンライン環境を利用した会議等の開催やテレワークの実施等については、今後も推奨されるべき方向として、各施設の状況に応じて可能な範囲で対応する。

備考

以上の指針は、5月8日以降当面の感染予防対策のポイントを示したものであり、今後の新型コロナウイルス感染症の動向によって内容が変更される可能性があります。

日本博物館協会では、今後の社会情勢や感染状況等を踏まえ、文化庁はじめ関係先との連携の下に、必要に応じて感染予防対策に関する情報提供等を継続して実施していきます。

なお、感染予防に関する基本的情報については、以下の参考資料も参照してください。

参考資料

(参考1) 基本的感染対策に関する現行の取扱い

- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の廃止について（令和5年4月27日 新型コロナウイルス感染症対策本部決定）

https://corona.go.jp/expert-meeting/pdf/kihon_r_050427.pdf

(参考2) 新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付け変更後の基本的感染対策の考え方について

https://corona.go.jp/news/news_20230406_01.html

公益財団法人日本博物館協会

〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-52

電話：03-5832-9108

E-mail: webmaster@j-muse.or.jp